重要なまちづくりの課題の現状評価シート

重要なまちづくりの課題（めざすべき姿）	教員は資質が確保され意欲がある		年度	平成27年度
			責任部長	教育文化部長
			主担当課長	学校教育課長
施策名	教師力の向上を図る	No.34	関係課	—

1. まちづくり指標の現状

まちづくり指標		指標のめざす方向	現状値 H18 / H24	実績値 H20 / H25	H21 / H26	H22 / H27	H23 / H28	H24 / H29	目標値 5年後 / 10年後
先生を信頼できると思う子どもの割合（%）	①小学校	↗	—	—	—	—	—	—	—
			89.1	88.0	88.8	82.2			90.0
	②中学校		—	—	—	—	—	—	—
			73.4	82.0	75.0	76.8			75.0
先生を信頼できると思う保護者の割合（%）		↗	64.2	69.9	70.9	72.8	75.2	72.6	71.6
			72.6	75.4	74.6	74.5			77.4
教職に対してやりがいがあると思う教員の割合（%）		↗	93.3	94.8	95.5	96.8	97.3	97.7	95.1
			97.7	96.8	97.8	97.6			96.3

2. 外的要因（世論、自然環境、社会動向、民間・NPO活動等）

教師の力量、言動、生き方は、直接、児童生徒に反映し、人格形成に大きな影響を与えている。専門職としての自覚と教育的愛情を持ち、教育内容や指導の研究と修養に努め、実践的な指導力を身につけた教師が求められている。

3. めざすべき姿に対する現状評価（まちづくり指標や外的要因等からの評価）

現状評価	B 停滞	「教職に対してやりがいがあると思う教員の割合」については、高い数値を示している。また「先生を信頼できると思う保護者の割合」についても、年度毎の多少の増減はあるものの、全体的には上昇傾向を示している。「先生を信頼できると思う子どもの割合」は、目標値に近い数字で推移してきたが、今年度は下がっており停滞しているといえる。

評価がB・Cの場

4. 事務事業群に対する評価（行政活動の評価）

長期成果（事業群①）	長期成果（事業群②）	長期成果（事業群③）	長期成果（事業群④）
教員一人一人が、研修を通して教員としての資質が高まる	教員一人一人がそれぞれの持ち味を生かし、教員としての資質が高まる		
校長・教頭会議開催事業	学校評価事業		
教務・校務主任者研修会、各種主任者会開催事業	指定研究論文募集事業		
初任者・2年目・3年目研修事業			
学習指導法・評価研修会開催事業			
生徒指導講座事業			
教師力向上のための連携推進事業の実施			
訪問研修アドバイザー派遣事業			
ステップアップ研修事業			
一宮市教育センター整備事業			
一宮市教育センター運営事業			

評価観点	1. 長期成果は重要なまちづくりの課題（めざすべき姿）の一歩手前の状態となっており、モレなくダブリなく設定されているか。 2. 各事業群の事務事業は、長期成果を達成するのに必要十分であるか。
評価	長期成果は、資質を高める方法として「研修」と「自己啓発」から捉えており問題ない。 先生を信頼できると思う子どもの割合を増加させるには、教師一人一人が教職に対する強い情熱、教育の専門家としての確かな力量、総合的な人間力を一層高める必要がある。今後も教員一人一人が研修を通して、教員としての資質を高めることに努めたい。
次年度の改善計画	平成27年8月に開所した一宮市教育センターを中心に、ライフステージに合わせた研修の体系化、研修内容の充実を進めている。これにより、教科の指導法、いじめ・不登校等生徒指導の対応力、保護者への対応力等を一層高め、教員としての資質の向上を図っていく。

＊＊＊